

2026年3月6日

電力広域的運営推進機関 (OCCTO)

容量市場センター 御中

一般社団法人 エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 (ERA)

**容量市場 2025 年度包括的検証に関する情報提供
(Call for Evidence 集計結果等を踏まえた意見)**

－ 発動指令電源の最大限活用と市場運営の効率化に向けて －

平素より容量市場の運営および制度検討にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 (ERA) として、貴機関および資源エネルギー庁の共同事務局にて進められている「容量市場 2025 年度包括的検証」に関し、2025 年 12 月および 2026 年 1 月の検討会で公表された Call for Evidence (CfE) 集計結果 (前半・後半) ならびに関連資料を拝見し、会員各社からの意見・課題認識を踏まえて、現時点で整理できた事項を下記のとおり取りまとめました。

本書面は、特定の事業形態の利益を目的とするものではなく、需給の安定確保と制度全体の実効性 (供給信頼度) 向上、ならびに需要家負担の抑制に資する観点から、発動指令電源 (需要応答等を含む分散型リソース) の潜在力を、制度の信頼度を維持しつつできる限り活かせるよう、主として制度運用・実務面の論点を整理したものです。

貴機関における 2 月のとりまとめ案の検討、ならびに 3 月の公表に向けたご検討に際し、少しでもお役に立てば幸いです。

記

1. 背景・問題意識

容量市場は、将来にわたる供給力 (kW) の確保を目的として導入され、制度運用を通じて一定の供給力確保に寄与してきたものと認識しております。一方、足元では電源ポートフォリオの

2026年3月6日付けOCCTO宛てレタードラフト (WGメンバー共有用)

転換や燃料・卸市場環境の変化等により、供給力の確保は「量 (kW)」に加え、逼迫時に確実に供出できる供給信頼度 (実効性) の確保がより重要になっています。

また、CfE 集計結果 (後半) では、発動指令電源に関して、応札時期・退出抑制、実効性テストの目的・負担、ベースライン算定、ならびに市場運営の効率化 (業務マニュアル、証憑、手続・システム等) に関する意見が多数寄せられていると承知しています。

ERA としては、即効性があり需要家負担の抑制にも資し得る発動指令電源を、制度の信頼度を維持しつつ最大限活用できるよう、まずは運用改善で対応し得る事項を中心に整理し、併せて中期的に整理が必要な論点は「検討課題」として共有いたします。

2. 優先的にご検討いただきたい運用改善 (短期)

以下は、CfE でも同趣旨の意見が多く見られ、募集要綱・業務マニュアル等の整理や運用改善により、比較的短期に実装し得ると考える事項です。

(1) 実効性テストの予見性向上・運用整理

【考え方】 実効性テストは、需給逼迫時に確実に供出できることを確認する上で重要であり、CfE 集計結果でも、需給が逼迫しやすい時間帯等、実需給に近い条件での実施を求める意見が示されていると承知しています。一方で、分散型リソースは需要家調整等の事前準備が必要であるため、実施判断の考え方や情報提示を整理いただくことで、実効性確保が向上できる余地があると考えます。

【ご検討いただきたい事項 (例)】

- 実施判断の考え方 (参照指標、判断時点、対象時間帯等) および通知・周知の在り方について、可能な範囲での事前周知を含め、運用の見直し・整理 (募集要綱・業務マニュアル・FAQ 等への明記)。
- 実施月・実施時期の選択肢の拡充 (例: 実施期間内での実施月の選択、予備率等を考慮した選定)。
- 需要家の稼働が特殊となる期間 (例: お盆期間、年末年始等) の取扱いの明確化 (対象外とする場合の考え方を含む)。
- 突合結果の通知時期の前倒しおよび判定プロセス (通知から確定までの時系列) の見直し・整理。

(2) 実効性テストと需給調整市場等の指令が重複した場合の取扱いの明確化

【問題意識】 需給調整市場等における調整力指令は、ゲートクローズ (GC) 後の需給ギャップ補填や 30 分未満の需給変動への対応、周波数維持に直結します。一方、同一リソースに対して実効性テストが重複した場合、現場では同時拘束となり、いずれかで未達 (未達成量の計上等) となる懸念があります。CfE 集計結果でも、実需給時の整理との整合を求める意見が示されていると承知しています。本論点については、需給調整市場側でも整理が進んでいると理解し

2026年3月6日付けOCCTO宛てレタードラフト (WGメンバー共有用)

ており、その整理結果と整合する形で、容量市場（実効性テスト）側の取扱いについても募集要綱・業務マニュアル等で整理いただきたいと思います。

【ご検討いただきたい事項（例）】

- 調整力指令と実効性テストが重複した場合の取扱いについて、系統運用上優先される調整力指令を遂行した場合には、制度趣旨（実効性確保）を損なわない範囲で、容量市場側の扱いが過度な負担とならないよう、達成扱い・未達成量算定からの控除等を含めた見直し・整理。
- 例えば、容量市場の供出リソースが需給調整市場等の複数制度に参加している場合や、同一需要地点（同一計量点）に複数の電源等リストが紐づく場合等では、同一時間帯に複数の指令・拘束が重複し得ます。こうしたケースも踏まえ、優先順位や評価（達成扱い・未達成量算定）の考え方についても整理いただきたい。
- なお、(1)で述べた可能な範囲での事前周知の拡充は、参加者側での重複回避（入札・運用調整）の検討にも資するため、併せて整理いただきたい。
- 一般送配電事業者等が保有する指令・応動記録（ログ）・計量値等の客観データで確認できる場合には、事業者側の追加提出を最小化し、可能な範囲で免除・簡素化を図ること（標準化・自動化を含む）。
- 上記を募集要綱・業務マニュアル・FAQ等において、誤解が生じない形で明記。

(3) 市場運営の効率化（情報提供・手続・データの改善）

【問題意識】 CfE 集計結果（後半）第3章でも、証憑類の簡素化、業務マニュアルの充実化、システム・ツール運用等に関する意見が多数示されていると承知しています。発動指令電源は地点数・契約更新等の特性から実務負担が大きくなりがちなため、制度運営側・参加者側双方の効率化につながる改善を優先的に進めていただければ幸いです。

【ご検討いただきたい事項（例）】

- 募集要綱・業務マニュアル・FAQ等の一体的な参照性向上（更新履歴・差分の明確化、電源区分ごとの一貫通貫の記載、典型事例（ケース）や判断基準の充実）。
- 証憑・提出物の簡素化（可能な範囲での様式統一、重複提出の削減、提出データの機械判読可能な形式（CSV等）の併用）。
- 突合・確認の効率化（客観データに基づく算定を基本とし、異議がある場合に申立を行う方式の段階的検討、確認の自動化・標準化）。
- 問い合わせ対応の運用改善（照会窓口の整理、回答目安の明示、複雑案件に関する打合せ設定等）。

3. 今後の検討課題として共有したい論点（論点提示）

以下は、制度趣旨との整合性や具体的な定量（影響規模）の整理が必要となるため、現時点では「制度変更の具体案として願う」よりも、まず論点を共有し、追加の事例・データと

2026年3月6日付けOCCTO宛てレタードラフト (WGメンバー共有用)

併せて検討を深めることが望ましいと考える事項です。ERAとしても、会員各社への照会等を通じて、可能な範囲で定量・事例の整理に協力いたします。

(1) 実効性テスト後の期待容量が1,000kW (1MW)を下回る場合の取扱い (退出・未達成量との関係)

発動指令電源 (需要応答等) では、需要家側の契約更新やアグリゲータ変更 (スイッチング) 等に伴う電源等の組み換えに加え、調整係数の適用等により、実効性テスト後の電源等リスト単位の期待容量が1,000kW (1MW)を僅かに下回る可能性があります。また、メインオークションにおける発動指令電源の応札上限容量 (全国H3需要の4% (追加分1%)) が設定されており、上限到達点では実効性達成率等による選別 (同率の場合のランダム決定) が行われる取扱いと理解しております。

こうした状況を踏まえ、実効性 (供給信頼度) の確保を大前提としつつ、実効性テスト後の期待容量が1,000kW (1MW)を下回る場合の取扱い (市場退出・未達成量の扱い、必要に応じた手当の要否等) について、影響規模や実務影響を把握した上で整理することが望ましいと考えます。

また、上限到達点等において実効性達成率が選別に用いられる取扱いについて、供給信頼度確保を前提に、リソース特性差や参加継続への影響も含め、データに基づく検証・整理が望ましいと考えます。

(2) 契約容量を上回る供出実績の参照と、追加調達必要量算定との関係整理

実効性テスト等で、契約容量を上回る供出実績 (実効性が客観的に確認された供給力) が確認される場合があります。市場退出等により再調達 (追加オークション等) を検討する局面では、制度の実効性 (供給信頼度) 確保を前提に、こうした実績をどのように参照し得るか (追加調達必要量の算定や手続との整合を含む) について整理が求められると考えます。

4. おわりに

ERAとして、貴機関の包括的検証のご検討に際し、本書面の論点整理が少しでもお役に立てば幸いです。必要に応じて、会員各社の実務上の事例・定量データの追加共有や、意見交換の機会にも協力いたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

以上